

科目名	社会学		履修年次	2 年次
科目区分	基礎分野	単位数(時間)	1 単位 ( 15 時間)	
講師名		講師の実務経験の有無	有 ・ 無	
<p>目的: 社会的存在である人間と社会を構成する要素との相互作用を理解する。</p> <p>目標: 1 社会を構成する家族と集団の構造・機能を理解できる。 2 現代社会の諸問題とその対応を考えることができる。</p>				
授 業 計 画				
単元	時間	内 容		方 法
1 家族の概念と構造・機能	2	1 基礎集団としての家族 (1) 家族の構造 (2) 家族の機能 (3) 家族の変動 (4) 家族の発達		講義
2 地域社会	2	1 地域社会の歴史的変化 (1) 農村社会と都市社会 2 地域保健・医療・福祉の現状と課題		
3 職業と職業集団	2	1 職業と社会 (1) 経営体と職業集団 (2) 医療集団		
4 現代社会と現代文化	4	1 現代社会 2 集団とネットワーク 3 現代文化の特徴 4 国際社会のとらえ方		
5 社会問題と総合福祉政策	4	1 社会問題の構造的関連 2 総合福祉政策の展開 3 医療問題と保健医療福祉システムの統合化		
試験	1			
評価方法	筆記試験			
必須資料(テキスト)	ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障① 健康と社会・生活 (メディカ出版)			
参考資料	・必要な資料がある場合は、講師が適宜準備し、印刷のうえ、配布する。			
履修上の留意事項	<p>・社会的存在としての人間と、人間を取り巻く現代の問題について深く考える機会としたい。</p> <p>・積極的な授業参加姿勢を望む。</p>			

科目名	看護に活かす教育学		履修年次	1 年次
科目区分	基礎分野	単位数(時間)	1 単位 ( 30 時間)	
講師名		講師の実務経験の有無	有 ・ 無	
<p>目的: 看護の対象に応じた効果的な教育に必要な基礎的知識・方法を理解するとともに、自己教育力を高める。</p> <p>目標: 1 教育の概念と基本的理論を理解できる。 2 教育効果に影響する諸条件を理解できる。 3 対象に応じた教育のプロセスとその方法を理解できる。 4 成人学習者として、専門職業人として自己教育の必要性を理解し、生涯をととした学習意欲を高めることができる。</p>				
授 業 計 画				
単 元	時 間	内 容		方 法
1 人間と教育・学習	12	1 人間の成長と教育の本質 (1) 教育の意義と目的 (2) 看護と教育の関連 2 教育の基礎理論 (1) 問題解決学習 (2) 発見学習 (3) プログラム学習 (4) 完全習得学習 3 発達段階における学習(教育)の特徴 (1) 乳幼児と学習(教育)の特徴 (2) 学童と学習(教育)の特徴 (3) 成人と学習(教育)の特徴 (4) 高齢者と学習(教育)の特徴 4 教育の場と目的 (1) 家庭教育 (2) 学校教育 (3) 社会教育		講義
2 看護師と学習支援	17	1 教育効果に影響を与える条件 (1) 身体的・精神的状態 (2) レディネス (3) 学習意欲と動機づけ (4) 学習環境 (5) 学習者と教育者の人間関係		講義
		2 学習指導 (1) 教育方法の基本原則(本質) ア 目的実現への役立ち イ 対象の状態の考慮 ウ 教育者の人格の反映 エ 人間関係・物的条件・社会的条件の作用 (2) 学習指導の意義と三者の関係 ア 学習指導の意義 イ 学習者・指導者・教材の関係		講義 演習

		ウ 指導・学習・教材研究の関係 (3) 学習指導の目標 ア 目標設定の枠組みと形式 イ 目標設定の原則 (4) 教育内容と学習指導形態 ア 教育内容と指導計画 イ 指導方法と教材の検討 ウ 学習環境の調整 (5) 学習指導の実際 ア 受容的形式と表現的形式 イ 学習指導形態の種類 (6) 教育と評価 ア 教育評価の機能と目的 イ 教育評価の時期と方法	
試験	1		
評価方法	筆記試験		
必須資料 (テキスト)	看護のための教育学 (医学書院)		
参考資料	・必要な資料がある場合は、講師が適宜準備し、印刷のうえ、配布する。		
履修上の 留意事項	・学習指導の実際では、指導計画を立案し実際に学習指導を展開する。 ・グループでの活動もあるため、積極的な学習姿勢と主体的な授業参加姿勢を望む。 ・授業をとおして、対象者への看護実践に活かすだけでなく、専門職業人(看護師)として生涯学び続ける必要性を学んでくれることを望む。		

科目名	心理学		履修年次	1 年次
科目区分	基礎分野	単位数(時間)	1 単位 ( 30 時間)	
講師名		講師の実務経験の有無	有 ・ 無	
<p>目的: 看護の対象となる人間の心理と行動の基礎知識を理解するとともに、学習者自身の自己理解を深める。</p> <p>目標: 1 心理学の基礎理論を理解できる。 2 人間の心理と行動のしくみを多面的に理解できる。</p>				
授 業 計 画				
単 元	時 間	内 容		方 法
1 看護と心理学	2	1 心理学の発展 (1) 心理学の対象 (2) 心の見方の歴史 2 心理学の研究方法 (1) 心理学の領域 (2) 人間理解の方法		講義
2 人間の心理を理解するための基礎	23	1 感覚・知覚の心理 (1) 感覚 (2) 知覚 2 記憶の心理 (1) 記憶のはたらき (2) 忘却の心理 (3) 記憶の工夫 3 感情・動機の心理 (1) 感情・情緒 (2) 動機・欲求 4 性格・知能の心理 (1) 性格 (2) 知能 5 学習の心理 (1) 学習理論 (2) 学習に影響する条件 (3) 練習の心理 6 発達の心理 (1) 発達の原理 (2) 発達段階の特徴 7 社会・集団の心理 (1) 対人認知 (2) 社会的態度 (3) 社会的スキル (4) 集団心理		講義
3 看護に活かす心理学	4	1 患者の心理 (1) 患者行動と患者心理 (2) ストレス理論 2 看護師の心理		講義

		(1) 燃え尽き症候群(バーンアウト) (2) 職業適応	
試験	1		
評価方法	筆記試験		
必須資料 (テキスト)	新 医療と看護のための心理学 (福村出版) 看護のための人間発達学 (医学書院)		
参考資料	・必要な資料がある場合は、講師が適宜準備し、印刷のうえ、配布する。		
履修上の 留意事項	・看護の対象である「人間」理解につながる学問である。自己理解にも役立つ科目のため、積極的・主体的な学習姿勢を望む。		

科目名	人間関係論		履修年次	1 年次
科目区分	基礎分野	単位数(時間)	1 単位 ( 15 時間)	
講師名		講師の実務経験の有無	有 ・ 無	
<p>目的: 援助的人間関係を形成するための基礎理論を理解するとともに、援助者としてのコミュニケーション技法を理解する。</p> <p>目標: 1 カウンセリングの理論と技法を理解できる。 2 人間関係を築くスキルを習得できる。</p>				
授 業 計 画				
単 元	時 間	内 容		方 法
1 人間関係を理解するための概念と理論	8	1 自己認知と対人認知 2 対人関係と役割 3 態度と対人行動 4 コミュニケーションと人間関係 5 ティーチングとコーチング 6 アサーション		講義
2 カウンセリング技法	2	1 カウンセリングのめざすもの (1) カウンセリングの目的 (2) カウンセリングの理論		講義
3 援助的コミュニケーション技法	4	1 カウンセリング技法 2 看護への応用 (1) 人間関係を築く面接技法 ア 初対面の面接時の対応 イ 傾聴の技法 (2) 援助のための積極的技法		講義 演習
試験	1			
評価方法	筆記試験			
必須資料 (テキスト)	系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 (医学書院) 看護のための人間発達学 第5版(医学書院) 精神看護学 I 精神保健学 (ヌーヴェルヒロカワ)			
参考資料	・必要な資料がある場合は、講師が適宜準備し、印刷のうえ、配布する。			
履修上の留意事項	・看護の基本となる対人関係形成能力を理論的に理解し、看護実践に活かすための重要な科目であり、心理学とも関係が深い科目である。相互に関連をもって学ぶことを推奨する。 ・対人認知だけでなく、自己理解にもつながり、また、看護としてのカウンセリング技法の学習もある。積極的な学習姿勢を望む。			

科目名	倫理学		履修年次	2 年次
科目区分	基礎分野	単位数(時間)	1 単位 ( 15 時間)	
講師名		講師の実務経験の有無	有 ・ 無	
<p>目的: 倫理原則を理解し、倫理的課題への対応を考えることをとおして、生命の尊厳や人権尊重について深く考える能力を養う。</p> <p>目標: 1 倫理学の基礎理論を理解できる。 2 倫理原則や倫理的課題の解決方法を理解できる。</p>				
授 業 計 画				
単元	時間	内 容		方 法
1 倫理学とは	2	1 倫理学という学問 2 人間生活と倫理 3 倫理の基礎 (1) 価値の規範 (2) 倫理と道德 (3) 倫理と法律		講義
2 現代医療における倫理的課題	12	1 医療の進歩と倫理 (1) 医師の倫理 (2) 看護師の倫理 2 医療における患者の権利 (1) 患者の権利尊重の背景 (2) 患者の権利主張とその承認 (3) 患者の自己決定権 3 真実告知 (1) 癌告知に対する諸外国と日本の相違 (2) 死の受容と医師の責務 4 医療の進歩と生命倫理 (1) 脳死と臓器移植 (2) 延命治療と安楽死・尊厳死 (3) 体外受精と出生前診断・遺伝子操作		講義 GW
試験	1			
評価方法	筆記試験 レポートの提出内容 GW への参加姿勢			
	} 総合的に評価する。			
必須資料 (テキスト)	系統看護学講座 別巻 看護倫理 (医学書院)			
参考資料	・必要な資料がある場合は、講師が適宜準備し、印刷のうえ、配布する。			
履修上の 留意事項	・現代医療を取り巻く倫理的課題に対しての感受性を高め、倫理原則に基づいた看護実践のために積極的な学習姿勢を望む。			



科目名	英語		履修年次	2 年次
科目区分	基礎分野	単位数(時間)	1 単位 ( 15 時間)	
講師名		講師の実務経験の有無	有 ・ 無	
<p>目的: 国際化の進展する現代において、医療・看護に必要な英語力を養う。</p> <p>目標: 医療・看護の現場における英語でのコミュニケーション方法を習得できる。</p>				
授 業 計 画				
単元	時間	内 容		方 法
1 医療・看護 場面における 英会話	14	1 診療・看護場面で使用される医療英単語 2 診療・看護場面における英会話		講義
試験	1			
評価方法	筆記試験（ミニテスト等も評価対象にすることがある。）			
必須資料 (テキスト)	CHECK-UP! Basic English for Nursing（金星堂）			
参考資料	・必要な資料がある場合は、講師が適宜準備し、印刷のうえ、配布する。			
履修上の 留意事項	・高等学校までに学習した英語・英会話を、医療現場で使える英語・英会話にするために積極的な学習姿勢を望む。			